

ヤン・ファールブル 演出・振付・舞台美術

『主役の男が女である時』

リズベット・グルウェーズのためのソロダンス
Quando l'uomo principale è una donna』

トリッキーでポジティブな愉悅の瞬間

ヤン・ファールブルといえば、やることなすことすべてが実験的というイメージが付いてまわる。この作品もダンス作品として先鋭的であり、その方法論たるやヤン・ファールブルらしく衝撃的であることは間違いない。しかし、ヤンの数多い作品のなかでもこれ程観る者の心を真正面から打ち、尾を引くような至福感を残してくれる作品は少ないのではないだろうか。

登場するのは、黒いスーツに身を包んだ長身瘦躯のリスベット・グルウェーズ。ヤン・ファールブルは始めから彼女のためにこの作品をつくった。作品が進行するにしたがい、ひりひりする位にそのことがよくわかる。男／女のジェンダーの壁を感じさせず、それでいながらエロスを放射しつづける彼女は、中性とか無性というより装わずしてアンドロジナス(両性具有)的である。彼女が上着を脱いだとき、上半身につけているのは両乳首をおおう一枚の黒テープだけ。性を越えたその美しく不可思議な姿態に、ますます釘付けになる。

緩急をつけながら表情豊かで切れ味鋭い動きをつづけるリス

ベットの身体。それと同じくらいの存在感をもっているのが、天井に吊るされた沢山のオリーブオイルの瓶とそこから糸を引くように垂れているオリーブオイルである。最初は床にたまったオイルを避けるように動いていた彼女が、瓶の栓を抜き、身に付けていた服を脱いでオイルにまみれていったとき、真のメタモルフォシスが訪れる。オイルはまるで彼女自身の体液か彼女を包んでいた羊水であるかのように彼女を包み、彼女の身体を芯から自由にする。

誰もなしえなかったようなウイットとユーモアを交え、あるがままの「性」と「生」がうねるようにしてひとつになった最後の一瞬—この作品を観たら、そのトリッキーでポジティブな愉悅の瞬間が忘れられなくなるはずだ。

石井達朗

石井達朗(いしい たつろう) 舞踊評論家

ニューヨーク大学(NYU)大学院演劇科、同パフォーマンス研究科研究員などを経て、現在は慶応大学教授。専門は舞踊・身体文化。祭礼・儀礼・伝統舞踊のフィールドワークでは、韓国、インド、インドネシアなどを訪ねる。朝日舞台芸術賞(2001—4年)、カイロ国際実験演劇祭(2002年)、トヨタコレオグラフィアワード(2006年より)審査員。著書に『異装のセクシュアリティ』『男装論』『サーカスのフィルモロジー』『アジア、旅と身体のコスモス』『アクロバットとダンス』ほか

このダンスは完璧なアートであり、ダンサーは抜群の表現力を持ったアーティストだ。

…素晴らしいの一言に尽きる。(ルネ・シルヴァン ル・フィガロ紙)

『主役の男が女である時』 Quando l'uomo principale è una donna』

【日時】6月30日(金) 開演19:30 【会場】彩の国さいたま芸術劇場
7月1日(土) 開演16:00 大ホール
2日(日) 開演16:00

【演目】『主役の男が女である時』 Quando l'uomo principale è una donna』
(リスベット・グルウェーズのためのソロダンス)

【演出・舞台美術】ヤン・ファールブル
【振付】ヤン・ファールブル、リスベット・グルウェーズ
【出演】リスベット・グルウェーズ
【音楽】マールタン・ファン・コーウェンバーク
ドメニコ・モドゥーニョ「ヴォラーレ」

【チケット(税込)】一般 S席4,000円 A席3,000円 学生A席2,000円
メンバーズ S席3,600円 A席2,700円

【発売日】メンバーズ 3月18日(土) 一般 3月24日(金)



ヤン・ファールブルは、
美貌のダンサーが秘める
両性具有の妖しい官能性を鮮やかに描き出した。

(ドミニック・フレタール ル・モンド紙)



ヤン・ファールブル Jan Fabre

1958年アントワープ(ベルギー)生まれ。アントワープ王立美術アカデミーで学んだ後、演劇と美術の境界を横断するパフォーマンス作品によってアーティストとしての活動を開始した。その活動は、パフォーマンスや演劇、ダンス、オペラ、脚本、造形美術と広範な領域にわたり、ベルギーのみならず海外でも、最も多才な前衛アーティストとして知られている。84年にベネチア・ビエンナーレで発表した

「劇的狂気の力 Le pouvoir des folies théâtrales」は、現代演劇の先端に位置する前衛作として注目を集め、世界中で上演された。80年代から現在に至るまで、一貫して人間の肉体を探求の対象とし、アヴィニオン演劇祭で発表された「我は血」(2001年)や王立モネ劇場で上演された「タンホイザー」(2004年)は国際的な評価を獲得した。2005年にはアヴィニオン演劇祭に芸術監督として招かれた。

予告

アヴィニオン演劇祭を
震撼させた衝撃作、上演決定!!

ヤン・ファールブル テキスト・舞台美術・振付

『我は血 JE SUIS SANG』
～中世妖精物語

【日時】2007年2月16日(金) 17日(土) 18日(日)

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール 【発売日】11月中旬(予定)

